

I 県外観光客入込調査

1 概要

- (1) 令和2年に高知県を訪れた県外観光客入込数は、2,667千人と推計され、対前年比60.8%、約172万人の減少となった。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、緊急事態宣言の発出や不要不急の外出、県境をまたぐ移動の自粛要請もあり、旅行需要が減退した。このため、本県への県外観光客入込数は、現在の手法で推計を始めた平成15年以降、最も低い数値となった。

- (2) 交通機関別入込数においては、自動車による入込が全体の9割を占めており、乗用車利用者は68.9%、観光バス利用者は19.6%であった。乗用車利用者は対前年比65.3%で975,123人の減少、観光バス利用者も対前年比56.3%で、405,257人減少した。また、他の交通機関においても新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、航空機は対前年比42.5%、79,781人の減少、鉄道も対前年比56.2%、58,256人の減少となった。特に、クルーズ客船については外国客船の寄港がなかったことにより、対前年比1.4%、55,950人の大幅な減少となった。

- (3) 観光施設の利用状況において、利用者数が最も多かったのは「『龍馬伝』幕末志士社中」で221,498人(対前年比63.2%)、次いで「高知県立足摺海洋館」の149,898人(対前年比362.4%)となっており、コロナ禍で前年より入込が減少する施設が多い中、令和2年7月にリニューアルオープンした「足摺海洋館」の躍進が目立つ。

また、利用者数の前年からの増加率上位施設には、「たつくし海中観光」や「足摺海底館」など、「足摺海洋館」の近隣施設がランクインしており、「足摺海洋館」のリニューアルに伴う話題化や周遊を促すプロモーションによって利用者数増加につながったと考えられる。

- (4) 県外観光客一人当たりの消費額(客船除く)は、24,294円であり、前年と比較して912円減少、対前年比96.4%となった。

内訳は、「宿泊費」のみ458円増加したが、「飲食費」が250円、「交通費」が802円、「土産代」が217円、「その他」が101円の減少となった。

客船乗船客等による消費額を含めた県外観光客の総消費額は、64,801百万円であり、前年と比較して44,870百万円減少、対前年比59.1%となった。

2 展 望

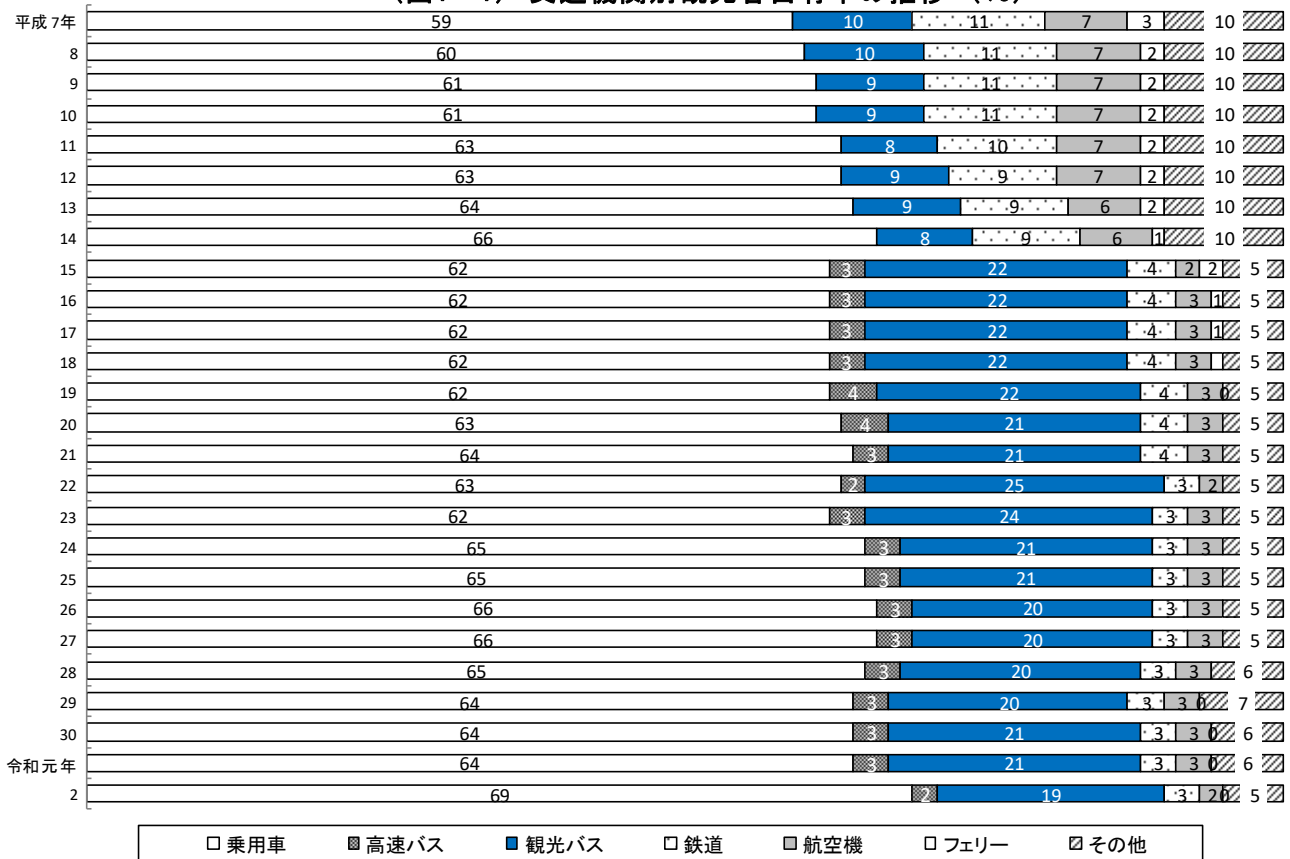
令和2年は、前年からスタートした「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」を継続して展開しつつ、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、国のGo To トラベル事業に連動して交通費用助成事業「高知観光リカバリーキャンペーン」を開始するなど、落ち込んだ観光需要の回復に向けた取組を実施した。

令和3年は、引き続き新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、観光需要喚起策の実施を継続するとともに、旅行商品を「つくる」、それらを効果的に「売る」、観光客を「もてなす」という一連の観光戦略のもと、高知県の強みである「自然」・「歴史」・「食」といった観光基盤をフル活用した観光キャンペーン「リョーマの休日」を展開し、観光需要の早期回復を図る。

3 調査結果

・交通機関別入込状況

(図1-1) 交通機関別観光客占有率の推移 (%)



(表1-2) 交通機関別観光客の推移

単位：千人

	乗用車	高速バス	観光バス	鉄道	航空機	フェリー	その他	合計
平成7年	2,908		486	541	332	134	484	4,885
8	3,038		499	568	339	128	503	5,075
9	3,143		487	576	347	124	515	5,192
10	3,115		450	553	347	117	504	5,086
11	3,138		425	475	345	96	492	4,971
12	3,169		430	462	349	112	497	5,019
13	3,222		434	457	328	109	500	5,050
14	3,380		434	451	319	67	512	5,163
15	1,944	92	688	138	82	56	150	3,150
16	1,906	101	673	132	95	25	146	3,078
17	1,898	104	670	135	93	24	146	3,070
18	1,998	111	706	135	102	16	154	3,222
19	1,885	108	666	133	95	16	145	3,048
20	1,914	111	642	135	91	15	145	3,053
21	2,012	103	674	122	81	14	150	3,156
22	2,737	108	1,080	120	93	13	208	4,359
23	2,412	111	947	120	96	12	186	3,884
24	2,481	112	827	121	102	11	186	3,840
25	2,670	115	839	123	109	11	205	4,072
26	2,642	114	816	122	111	10	197	4,012
27	2,714	118	805	126	112	10	201	4,086
28	2,756	115	856	129	116	10	261	4,243
29	2,830	114	892	130	122	9	309	4,406
30	2,820	112	927	133	125	7	288	4,412
令和元年	2,813	112	927	133	139	0	264	4,388
2	1,838	46	521	75	59	0	128	2,667

※平成15年分より推計手法を見直している。

平成14年以前は高速バス利用は「その他」に計上していた。

平成23年から「その他」に航空機チャーター便と客船を加えている。

